

組合員 WEB アンケート「あなたの声をパルシステム東京へ！2023」まとめ

パルシステム東京 機関運営室

1. 目的

広く組合員の声を集め、政策や事業の方針づくりの参考とする。

2. 実施概要

- (1) 実施期間：2023年10月23日（月）～11月26日（日）の5週間
- (2) 集約対象と広報：全組合員を対象に、ホームページ、メールマガジンなどで広報
アンケート回答方法はインターネット限定

3. 参加組合員属性

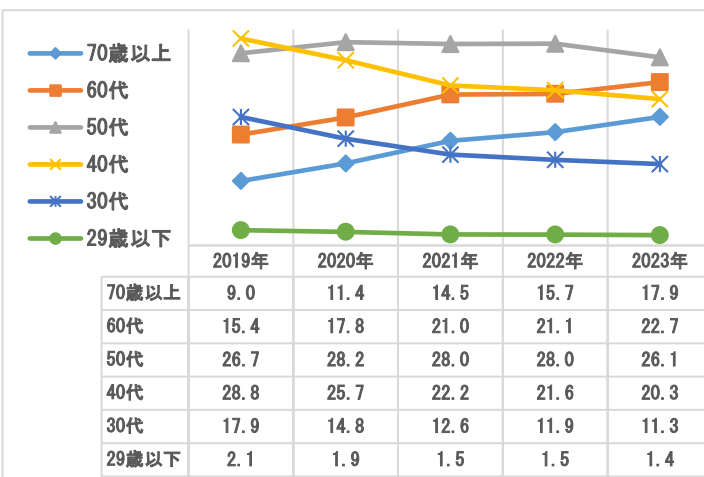
(1) 参加総数、お住まい

回答数：8,062件
居住地：区部 約61%、市部 約39%

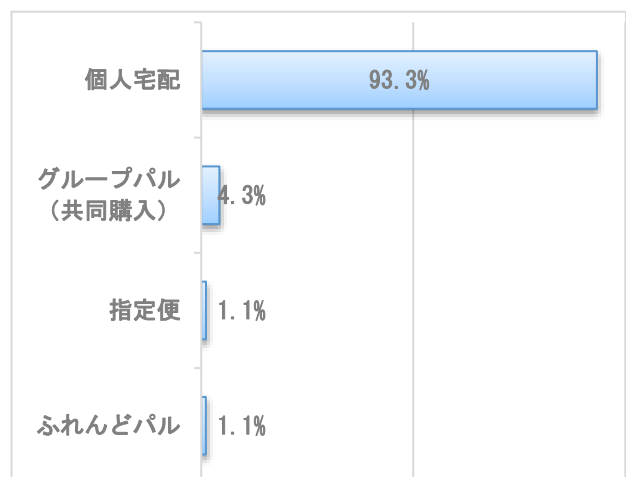
(2) アンケート参加

今回初めて意見を寄せた方	：約61%
去年もしくはそれ以前にも意見を寄せた方	：約39%

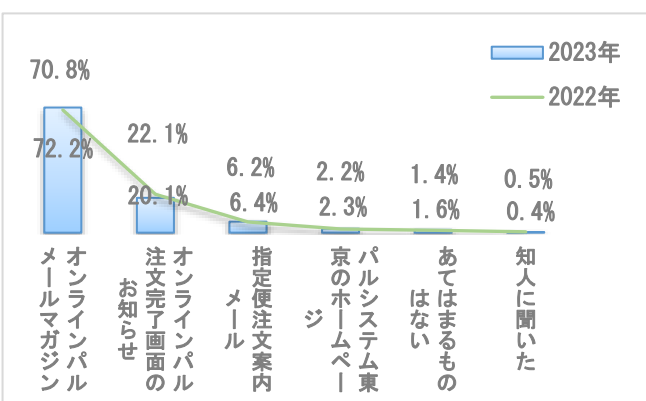
(3) 年代構成



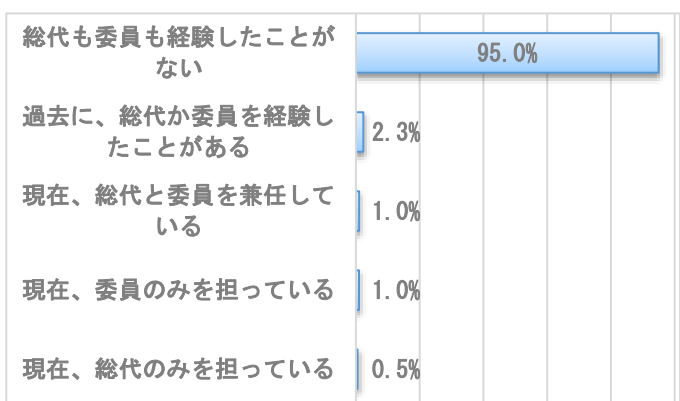
(4) 利用形態



(5) アンケートを知ったきっかけ



(6) 総代※1・委員の経験



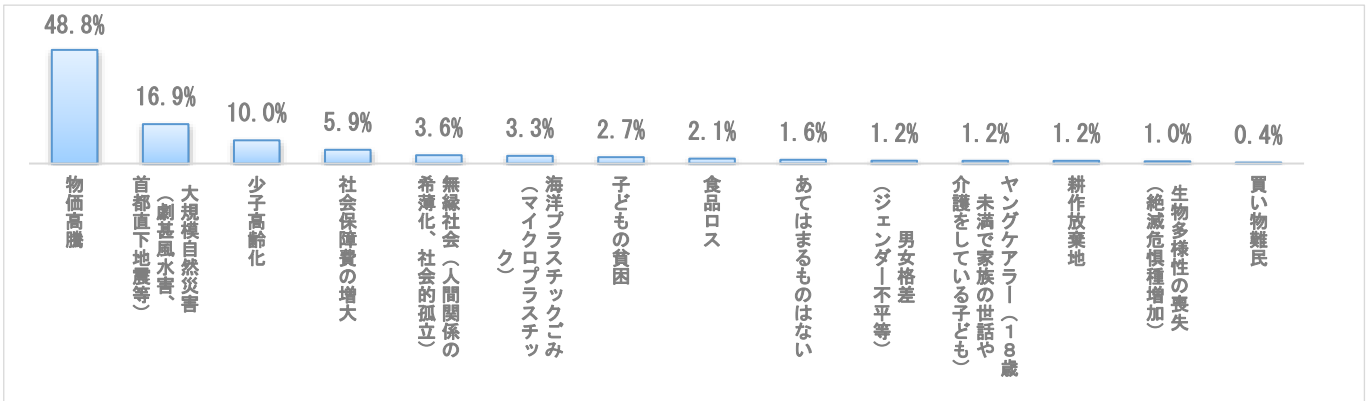
※1 総代・・・パルシステム東京の52万人の組合員から510人を、9つの地域区ごとに選出しています。事業や組織の活動の推進をチェックし、生協の最高意思決定機関である「総代会」でパルシステム東京の事業や組織の活動の方針を議決します。

<参加組合員の属性について>

- ・回答者の年代構成は、40代以上の割合が高く、その中でも60代以上が上昇傾向、50代以下は減少傾向にあります。また、5年間で70歳以上の回答率が倍増し2021年には30代を逆転しました。その後も30代以下の回答率が減少傾向となっています。
- ・広報は昨年同様オンラインのみで行い、「オンラインパルメールマガジン」で『アンケートを知った』との回答が大半でした。また、【利用形態】【総代・委員の経験】では大きな変化はなく、総代・委員の経験がない割合も、依然として大きい数字となっています。

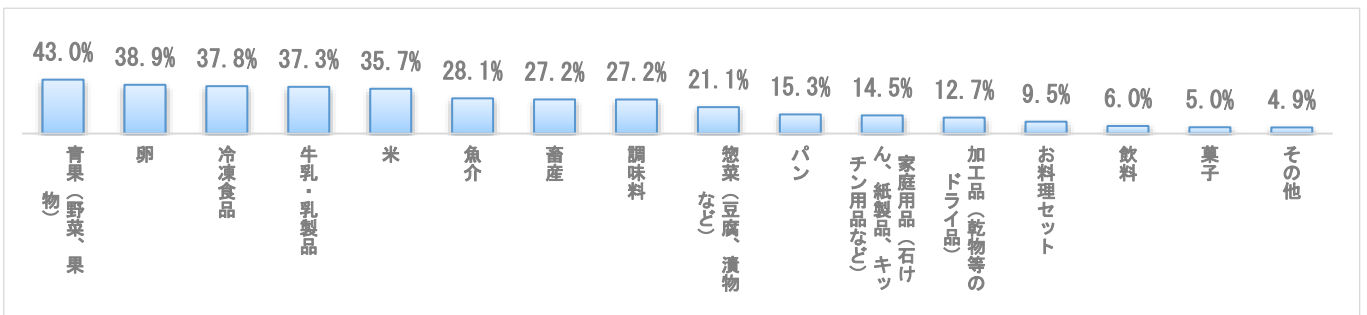
4. 回答結果 ※以下、経年比較グラフ内の数字は最新年度のみ掲載しているものもあります。

【設問1】コロナ禍後の日本の社会問題として、一番気になるものは何ですか。

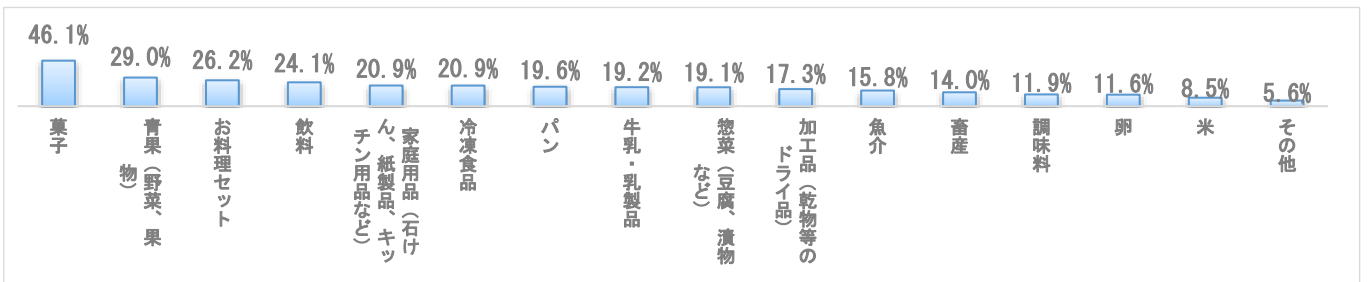


- ・【設問1】から【設問3】は今年新設の設問です。
- ・【設問1】では、「物価高騰」が48.8%と全体の約半分を占めました。全ての世代において一番高い割合を占めましたが、年代が下がるほどその傾向が高く、40代以下では50%以上の方が選択しました。一方、「大規模自然災害」は、年代が上がるほど関心が高く、世代間による一番の関心事への差がありました。

【設問2】パルシステムの商品の中で、値上がりしても買いたい商品カテゴリーは何ですか。(複数回答可)

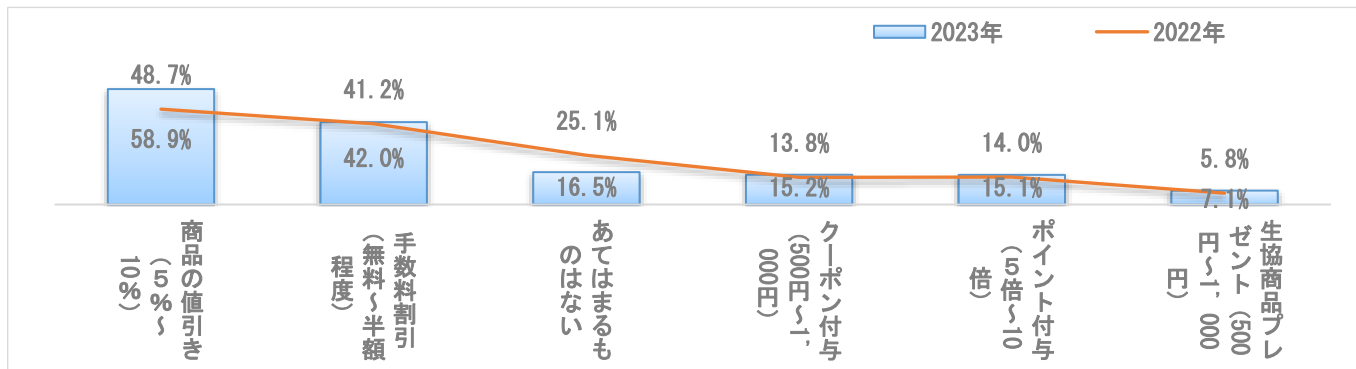


【設問3】パルシステムの商品の中で、値上がりしたら買い控えしてしまう商品カテゴリーは何ですか。(複数回答可)



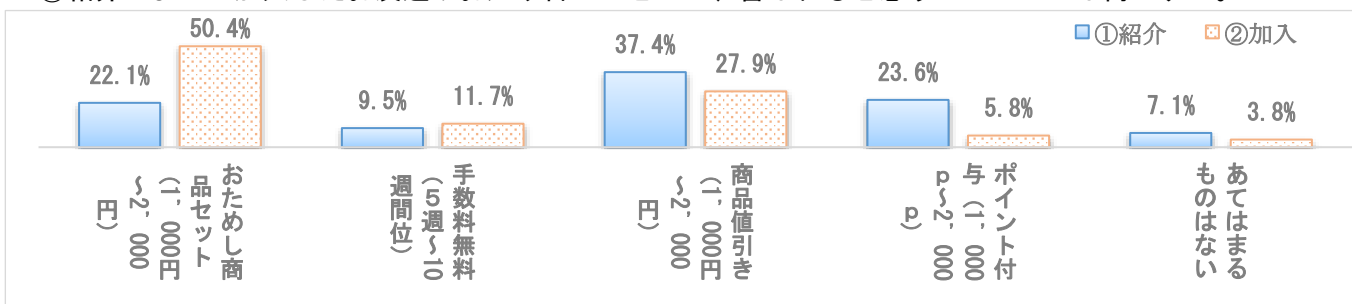
- ・【設問2】値上がりしても買いたいパルシステム商品は、「青果(野菜・果物)」が最も多く選ばれる結果で、50代以上で約5割が選択する一方、30代以下では3割程度に留まりました。その他、「お料理セット」以外のほとんどの項目で年代が下がるほど低い数値となっており、【設問1】で若年層ほど「物価高騰」を選択していた結果と一致しています。
- ・【設問3】設問2と反対の結果で「菓子」が多く選ばれています。なお、30代以下では約4割が「青果(野菜・果物)」を選択しました。

【設問4】 パルシステムを継続的に利用したくなる魅力的な特典は何ですか。(最大2つまで選択可)



【設問5】 パルシステムの紹介特典について、お答えください。

- ①お友達やお知り合いを紹介いただいた時のプレゼントとして一番魅力的なものは何ですか。
- ②紹介によって加入したお友達やお知り合いにとって、喜ばれると思うプレゼントは何ですか。



・【設問4】 昨年新設の設問で大きな変動はなく、どの世代でも「商品値引き (5%~10%)」が最も選択されました。一方、「クーポン付与」は30代以下が28%以上であったのに対し、50代以上は15%以下と、世代による差が出ました。

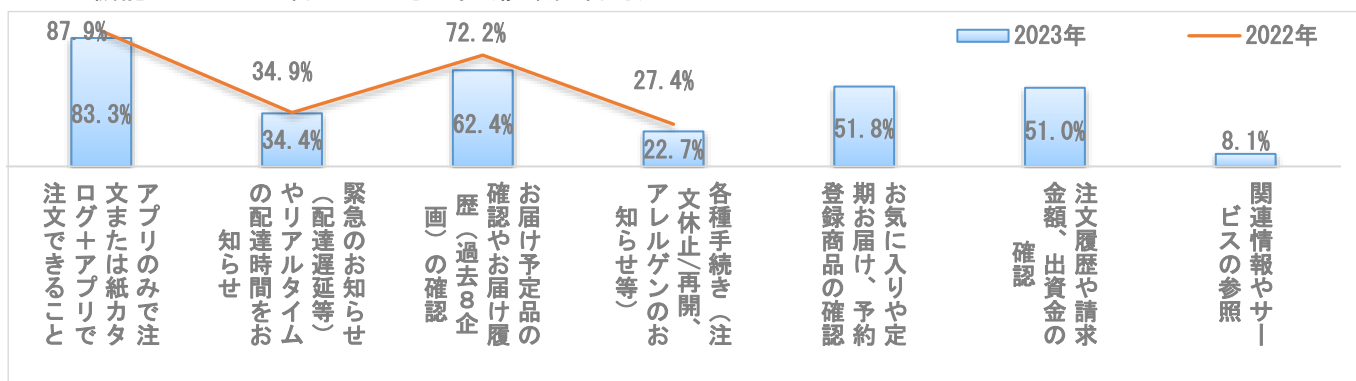
・【設問5】 ①②とも「商品値引き」はすべての世代で高い支持がありました。②の視点(お友達等にプレゼントする)では「おためし商品セット」が最も多く選択されました。

【設問6】 「パルシステムアプリ」について、お答えください。

- ①各種アプリの機能を統合した「パルシステムアプリ」を知っていますか。

①	2023年	2022年
すでに利用している →②へ	55.2%	39.9%
知らなかったが今後利用する	14.6%	24.5%
利用しない	30.0%	35.4%

- ②「パルシステムアプリ」を利用している方にお聞きします。実際に使っている機能についてお答えください。(複数回答可)

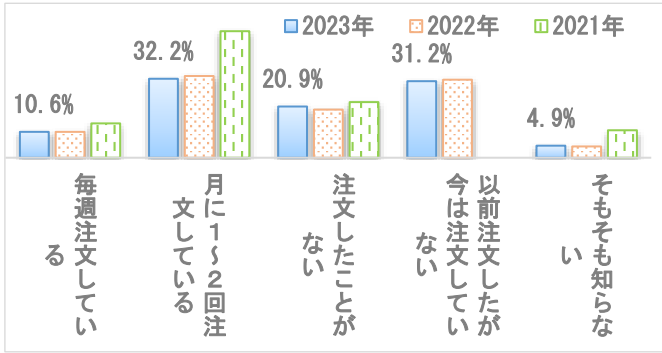


・【設問6】

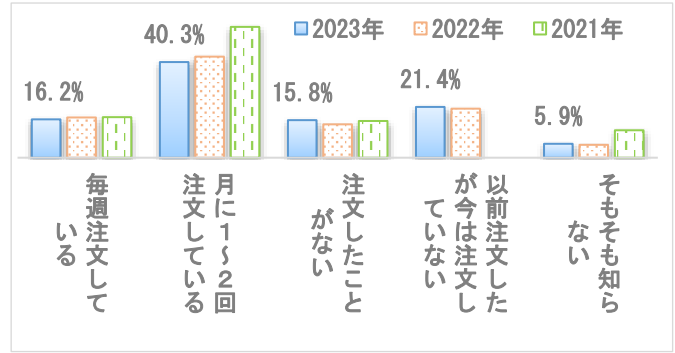
- ①パルシステムアプリは、2022年から比べて認知度が上がり、普及していることが数字にも現れました。
- ②今年から回答選択肢を3つ新たに加えました。「アプリのみで注文、または紙カタログ+アプリで注文できること」が継続して、全世代で多く選択されていますが、新設の「お気に入りや定期お届け、予約登録商品確認」「注文履歴や請求金額、出資金確認」も、50代以下を中心に半数以上の方に使用されています。

【設問7】 パルシステムの農産品について、お答えください。

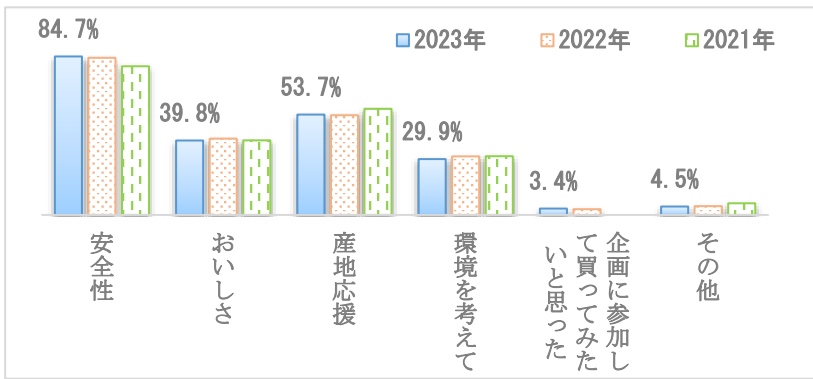
①コア・フード商品（有機栽培）を注文したことはありますか。



②エコ・チャレンジ商品（減農薬・減化学肥料）を注文したことはありますか。

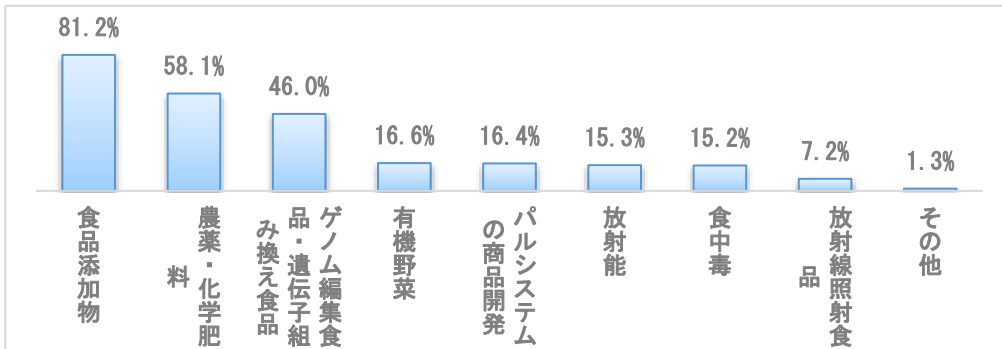


③コア・フードまたはエコ・チャレンジ商品を、月に1回以上注文している方へお聞きします。選んだ理由をお答えください。（最大3つまで選択可）



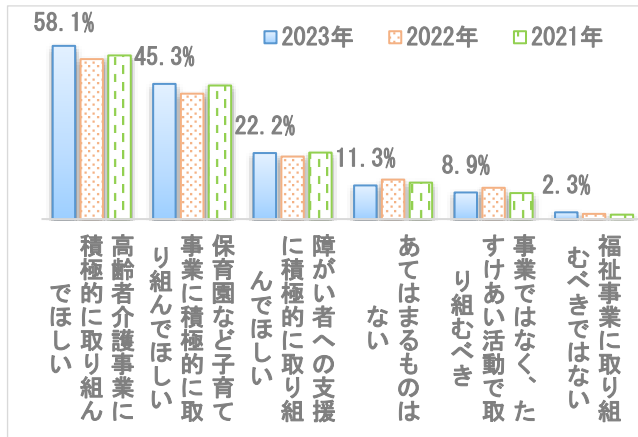
・【設問7】 コア・フード、エコ・チャレンジともに、認知度は一昨年から比べて上がっていますが、どちらも注文数は減少傾向です。特に30代以下の認知度と注文頻度が低い結果となりました。コア・フード、エコ・チャレンジを注文している方の興味は、引き続きすべての世代で「安全性」が最も高く、最大の購買理由となっています。

【設問8】 食の安全に関してお聞きします。関心の高いテーマを選んでください。（最大3つまで選択可）

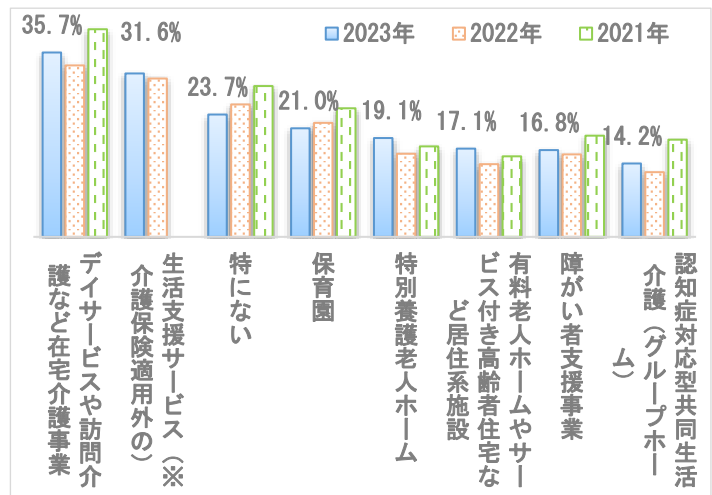


・【設問8】 食の安全の関心事は、すべての世代で「食品添加物」が最も選択されました。その他の特徴として、「食中毒」は年代が下がるほど、「農薬・化学肥料」は年代が上がるほど、関心が高い傾向となりました。

【設問9】 パルシステム東京では高齢者介護事業（介護保険事業）と子育て事業（保育園）に取り組んでいます。パルシステム東京が取り組んでいるこの福祉事業に、期待したいものは何ですか。（最大2つまで選択可）



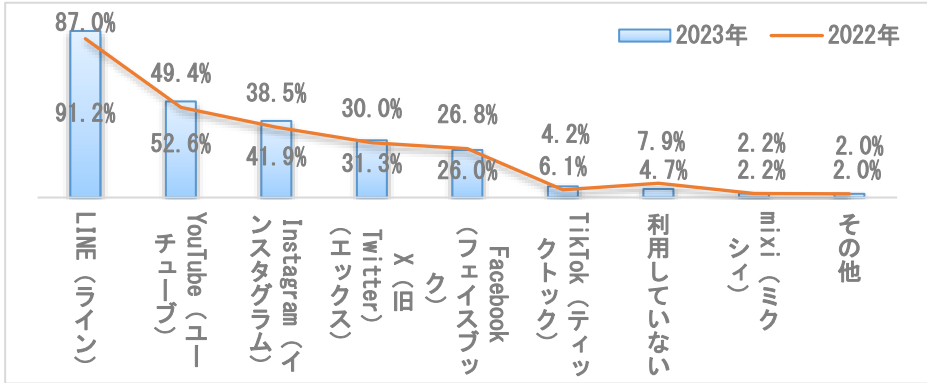
【設問10】 現在お住いのエリアで、パルシステム東京の福祉事業で取り組んでもらいたいサービスはありますか。（最大3つまで選択可）



<福祉事業> どちらの設問も 2014 年から経年分析しており、大きく傾向は変わりありません。

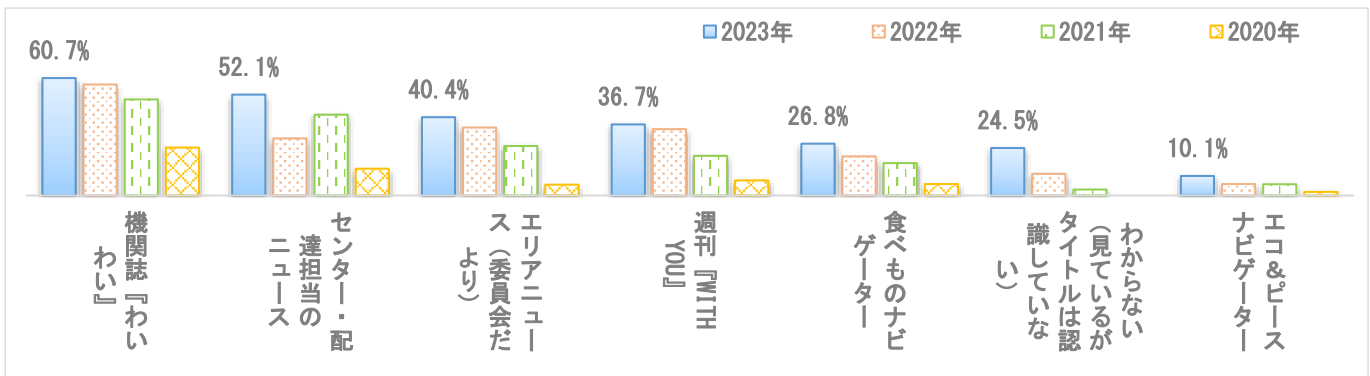
- ・【設問 9】 ここ数年大きな変動はなく、60 代以上で「高齢者介護事業」に約 70%、30 代以下で「子育て事業」に約 80%の期待が集中しています。年代により、大きな差が出ました。
- ・【設問 10】 「デイサービスや訪問介護事業」、「生活サービス支援」どちらも 60 代以上で約 40%、30 代以下では「保育園」に 60%以上の期待が寄せられており、設問 9 と同様に年代別で明確に分かれる結果となりました。

【設問 11】 パソコンやスマートフォンで利用している SNS（ソーシャルネットワークサービス）は何ですか。（複数回答可）

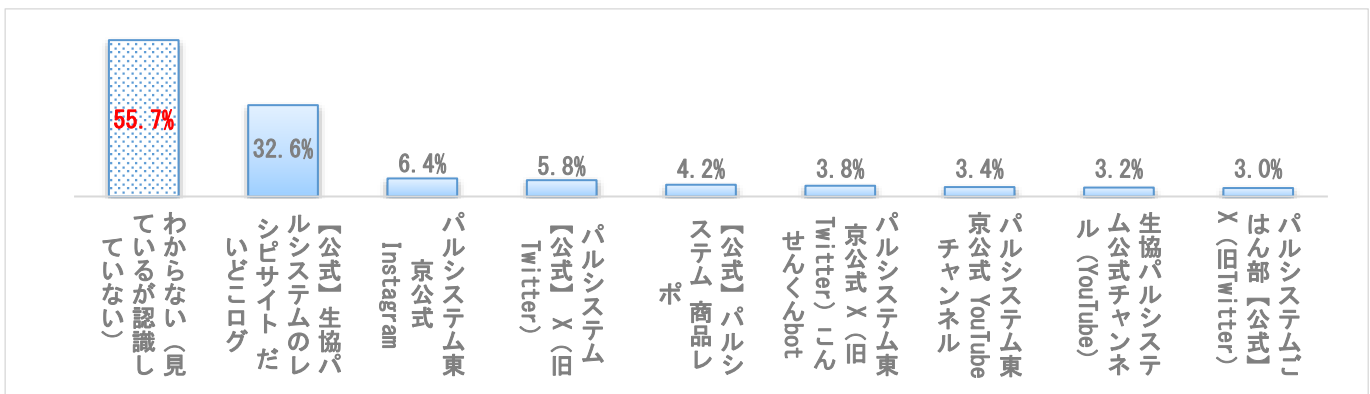


・【設問 11】 「LINE」の利用者が、全世代でほぼ 90%以上となっています。どの選択肢も年々上昇傾向にあり、今後もますます SNS を活用した情報発信やコミュニケーションが求められていると考えられます。

【設問 12】 ①カタログと一緒に配付されるチラシやインターネットなどの情報で、知っているものは何ですか。（複数回答可）



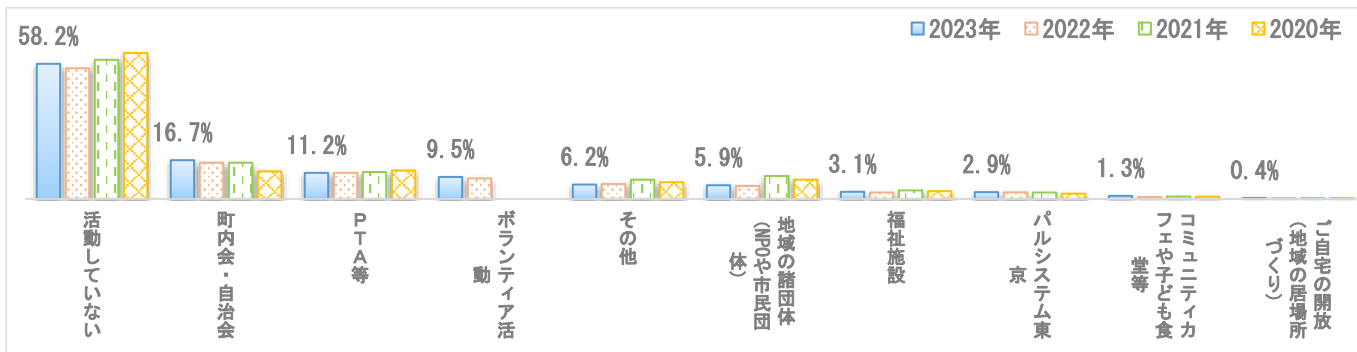
②パルシステムの公式 SNS で、知っているものは何ですか。（複数回答可）



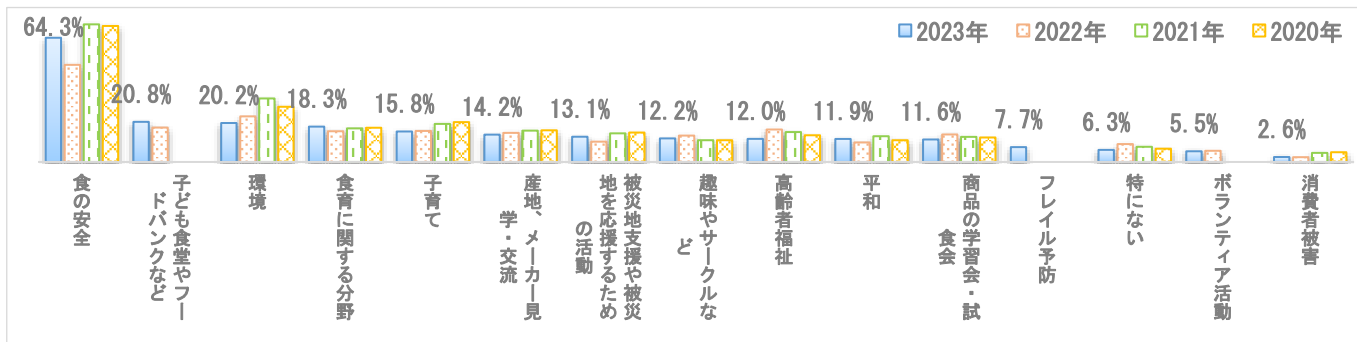
・【設問 12】 今年度は、購買目的以外の情報誌、SNS からの選択としました。

- ① 「機関誌『わいわい』」50 代以上では 60%以上認知されていますが、29 歳以下では約 20%、30 代では 36%でした。【設問 6 ①】で 30 代以上は 70%以上がパルシステムアプリを利用しており、注文時に紙媒体を見ない人が多い世代であると推測されます。
- ② 注文サイト以外の SNS に特化した選択肢に変更した結果、「わからない (見ているが認識していない)」が昨年の【9.5%】から【55.7%】へ上昇しました。「【公式】生協パルシステムのだいでカタログ」以外は軒並み 10%を下回っています。

【設問 13】ご自身が地域で活動している場合はどんなところですか。（複数回答可）



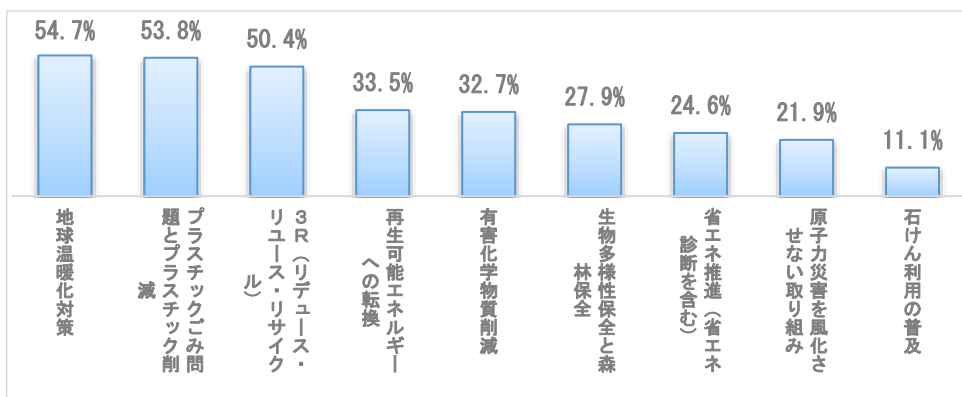
【設問 14】パルシステム東京では、くらしや地域を豊かにしていくさまざまな活動を行っていますが、興味を引かれる分野は何ですか。（最大3つまで選択可）



<組織> 【設問 14】は新たに「フレイル予防」を選択肢に加えました。

- ・【設問 13】「活動していない」割合が最も高く、30代では70%以上、29歳以下では80%以上が選択しています。その他については横ばいで推移しています。
- ・【設問 14】「食の安全」が昨年比で14%上昇し、どの世代でも高い興味を持たれる結果となりました。

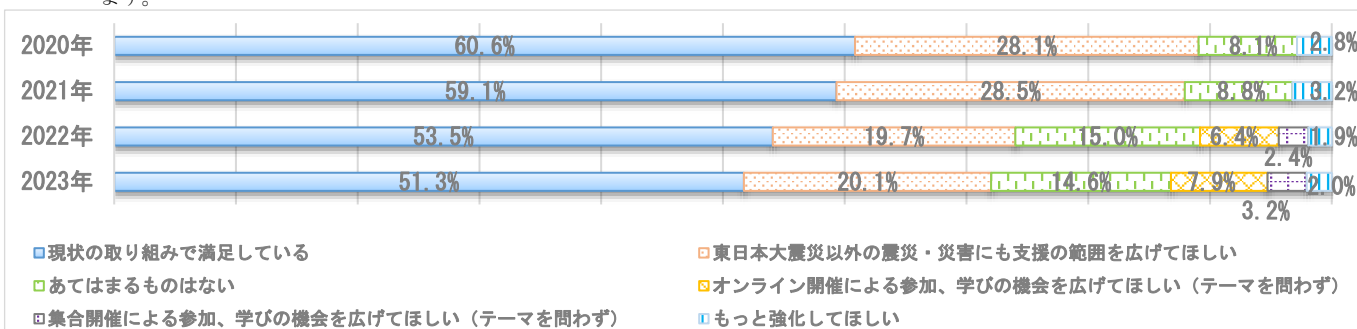
【設問 15】パルシステム東京では、環境保全や資源循環型社会を目指すさまざまな活動を行っていますが、興味を引かれる分野は何ですか。（複数回答可）



・【設問 15】は今年新設の設問です。「地球温暖化」「プラスチックごみ問題」「3R」がほぼ横並びで上位となりました。世代間で大きな差のない項目が多い中、「地球温暖化」「原子力災害」は高い年代で選ばれていました。

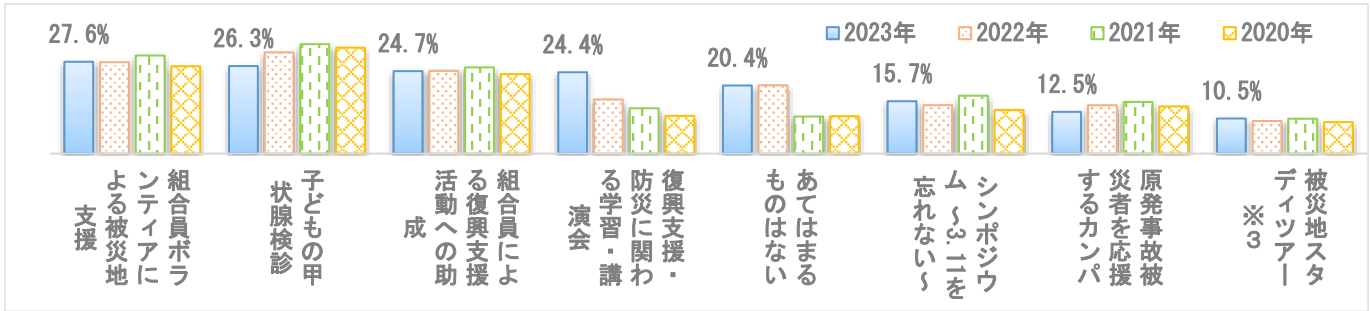
【設問 16】パルシステム東京が取り組む東日本大震災被災者支援活動※2について、どのようなお考えをお持ちですか。

※2 東日本被災者支援活動・・・パルシステム東京では、「3.11を忘れない」を基本視点に、これまで、組合員ボランティアによる被災者支援や、原発事故被災者を支援するカンパ、復興支援に関わる学習・講演会、被災地スタディツアーなど、様々な支援活動に取り組んでいます。

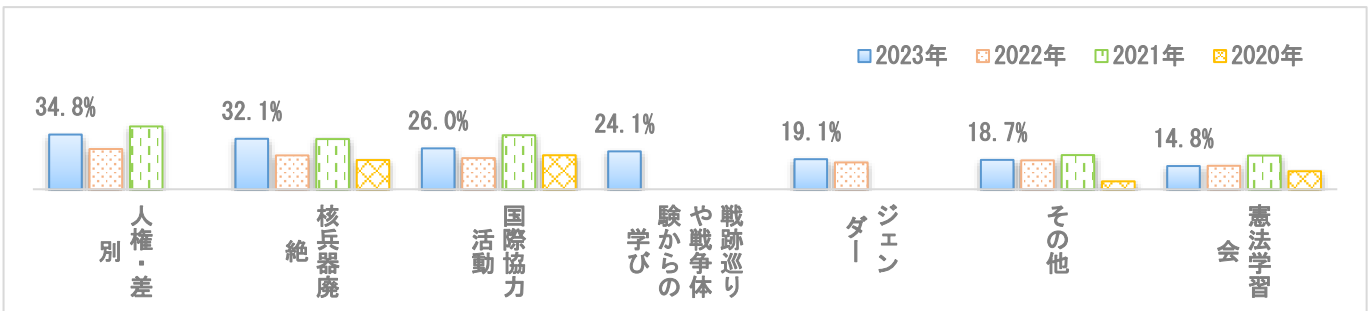


【設問 17】 パルシステム東京の復興支援活動について、今後も継続して取り組んでほしい活動はありますか。（複数回答可）

※3 被災地スタディツアー・・・東日本大震災の被災地を訪れ、自らの目で復興の現状と課題を学ぶツアー。私たちにできる支援とは何かを考え、行動するきっかけの場として実施しています。



【設問 18】 平和学習会のテーマや手法としてどのような企画に参加したいと思いますか。（複数回答可）



- ・【設問 16】 昨年から大きな変動はありませんが、「現状の取り組みで満足」が減少傾向、「支援範囲を広げてほしい」「学びの機会を広げてほしい」が増加傾向です。
- ・【設問 17】 昨年の「復興支援に関わる学習会・講演会」に「防災」という文言を追加しました。その結果同項目は、昨年比8%向上しています。
- ・【設問 18】 今年から「戦跡巡りや戦争体験からの学び」を加え、特に40代以下では30%以上の支持を得ています。その他、「核兵器廃絶」は年代が上がるほど、「人権・差別」「ジェンダー」「国際協力活動」は年代が下がるほど、選択されています。

5. おわりに

アンケートへのご協力、ありがとうございました。2011年から実施している「あなたの声をパルシステム東京へ」は今回で13回目となりました。

今回、新設した「コロナ禍後の日本の社会問題として、一番気になるものは何ですか」の回答では、すべての世代で「物価高騰」が大きな割合を占め、改めて社会環境の変化が、組合員の暮らしへ大きく影響していることが窺えました。

既設の設問への回答とその傾向も含め、引き続き、寄せられた声は、次年度方針の策定や、具体的な企画検討の参考として活用させていただきます。

以上